

作成日 平成 31 年 3 月 22 日

提出日 平成 31 年 3 月 22 日

平成 31 年度情報科学類新入生歓迎委員会 委員長 大崎 俊輔

作成者 大崎 俊輔

## 情報学群情報科学類新入生歓迎会 事業計画書

### 1. 概要

#### 事業名称

平成 31 年度情報科学類新入生歓迎会

#### 事業目的

新入生歓迎委員会(以下新歓委員会)は情報科学類に入学する新 1 年生が、スムーズに大学に入学し、周りの新しい環境に慣れるよう支援することを活動目的とする。

#### 参加予定人数

新入生：80 名

上級生（新歓委員）： 新 2 年生 25 名 新 3 年生 2 名

#### 主催

名称： 平成 31 年度筑波大学情報科学類新入生歓迎委員会

代表者： 大崎 俊輔（情報学群情報科学類新 2 年生）

構成員数：27 名

## 後援

筑波大学紫峰会基金（申請中）

筑波大学情報学群情報科学類

## 2. 詳細

### ・ 事業日程

事業日	時刻	事業名	場所	備考
2019 年 4 月 4 日	9:00~15:00	1.宿舎入居支援	平砂学生宿舎付近 グローバルビレッジ付 近	
2019 年 4 月 6 日	17:30~20:00	2.入学前食事会	中国家常料理 百香亭 筑波大学店	
2019 年 4 月 8 日	10:20~12:15	3.入学式補助	大学会館周辺から 3A203	
2019 年 4 月 8 日	14:00~18:15	4.オリエンテー ション補助	3A203	
2019 年 4 月 9 日	12:45~15:00	4.オリエンテー ション補助	3A203	
2019 年 4 月 9 日	15:00~	5.合宿	茨城県立中央青少年の 家	
2019 年 4 月 10 日	~11:30	5.合宿	茨城県立中央青少年の 家	
2019 年 4 月 10 日	13:30~17:40	4.学類オリエン テーション補助	3A203	
2019 年 4 月 13 日	10:00~16:00	6.履修相談会	情報科学類計算機室ま たは全学計算機室	場所 未定
2019 年 4 月 13 日	17:00~20:00	7.学類懇親会	グローバルビレッジ	
2019 年 4 月 14 日	10:00~16:00	6. 履修相談会	情報科学類計算機室ま たは全学計算機室	場所 未定
2019 年 4 月 21 日	17:00~20:00	8.学群懇親会	グローバルビレッジ	

## 1. 宿舍入居支援

- ・ 目的  
新入生のスムーズな宿舍入居を支援することが目的である。
- ・ 日時  
4月4日 9:00～15:00
- ・ 場所  
平砂学生宿舍付近  
グローバルビレッジ付近
- ・ 事業の内容  
平砂学生宿舍付近の所定の位置にテントを設置し、テントを中心に補助を行う。  
具体的な補助内容としては新入生の宿舍入居への誘導、荷物運びの補助、家具の設置等の補助、必要物購入の支援が考えられる。  
グローバルビレッジ入居者に関しては、入居する新入生の人数を確認し、人数に応じて個別に対応する。
- ・ 雨天時対応  
宿舍入居が中止にならない限り晴天時と同様の活動を行う。
- ・ 昨年度の問題点と対策

昨年度の問題点	改善案
グローバルビレッジにて支援を行わなかったため新入生より来てほしかったとの声があった。	グローバルビレッジにおいても入居支援を行う。
宿舍の配送システムなど、入居に付随する手続きについての理解が不足していた。	事前に新特委や昨年度の新歓委員、実際に入居した方から情報を得て、今年度新歓委員に周知する。

## 2. 入学前食事会

- ・ 目的

新入生同士の親睦を深めることや、新歓委員と会話することで、その後の入学式やオリエンテーションを円滑に進めることができるようにすることが目的である。

- ・ 日時

4月6日 17:30~19:30

- ・ 場所

中国家常料理 百香亭 筑波大学店

- ・ 事業の内容

新入生同士が初めて顔合わせをし、交流を行える食事会を開催する。新入生がスムーズに会話できるように1テーブルにつき一人から二人の上級生が机につくようにする。

- ・ 昨年度の問題点と対策

特に昨年度の問題点があったという引継ぎは受けておらず、また、参加した身としても、特に問題はなかったように感じた。

### 3. 入学式補助

- ・ 目的

新入生が慣れない場所でかつ広いキャンパス内で迷わず入学式に参加できるよう補助し、オリエンテーションの会場まで案内することを目的とする。

- ・ 日時

4月8日 10:20~12:15

- ・ 場所

筑波大学 大学会館周辺から第3エリア

- ・ 事業の内容

入学式前は、新歓委員が幟を持って待機し、新入生が入学式会場に入れるように誘導する。また、記念撮影などを依頼されれば行う。

入学式終了後、午後から行われるオリエンテーション会場に新入生と移動し、解散とする。

- ・ 昨年度の問題点と対策

昨年度の問題点	改善案
大学側との連絡が甘く、誘導時に問題が発生した。入学式が終了し次第、オリエンテーションを行う教室に誘導したが、教室の鍵が開いていなかった。	使用教室について教員側と密に連絡を取り合い、1年生を混乱させることのないようにする。
入学式直後からサークルの新歓本祭も行われており、その中を誘導することになったため、誘導自体にも非常に苦労した。	予め、新歓本祭が開催されていることは把握しているため、新歓委員を昨年より多めに導入し、はぐれる1年生がでないように気を付けながら誘導する。

#### 4. 学類オリエンテーション補助

- ・ 目的  
新入生に筑波大学や情報科学類について紹介し、学内にこういった組織があるのかなどを知ってもらうことを目的とする
- ・ 日時  
4月8日 14:00～17:15  
9日 12:45～15:00  
10日 13:30～17:40
- ・ 場所  
筑波大学 3A203  
茨城県立中央青年の家(合宿先)
- ・ 事業の内容
  - 学生組織(全代会、クラス代表者会議等)に関する説明
  - 学類組織に関する説明  
情報科学類に関連が深い組織に自組織紹介をしてもらう。この「学類組織」とは具体的には「筑波大学情報科学類誌 WORD 編集部」「情報学群組み込みキャンパス OJT openfab 創房」「筑波大学システム情報工学研究科産学間連携推進室」のことである。
  - 学園祭に関する説明、学園祭学生負担金徴収、学園祭実行委員募集
  - 宿舍祭に関する説明
  - スポーツ・デーに関する説明、委員の選出
- ・ 昨年度の問題点と対策

昨年度の問題点	改善案
学類にいる全代会員から説明を行うことになっていることを認知していなかった。結果的に説明を行うことはできず、30 分空白の時間ができてしまった。	情報科学類内の全代会員にすでに話は通してあり、滞りなく実施可能である。

## 5. 新歓合宿

- ・ 目的

新入生同士の親睦を深め、また、クラス代表を選出することを目的とする。

- ・ 日時

4月9日 15:00～10日 11:30

- ・ 場所

茨城県立中央青年の家

- ・ 事業の内容

- 履修登録方法の説明

実際に Twins を使用して履修登録を行う。

- 野外炊事(バーベキュー)

昨年同様、バーベキューを予定。

会場には屋根があるため、雨天でも決行する。

- レクリエーション

体育館内で簡単なゲームなどを予定。

- クラス代表の選出

合宿の前にオリエンテーションで説明があるため、合宿中に選出を行う。

- ・ 昨年度の問題点と対策

昨年度の問題点	改善案
レクリエーションの時間が余ってしまったので急遽ドッジボールを行ったが、委員側が対応に手間取ってしまった。	既にレクリエーションで何を行うのかは話合われており、十分な数が出ているため、時間が余ることはないと考える。

## 6. 履修相談会

- ・ 目的  
新入生が履修の仕組みについて理解しているかどうかや、必修の履修漏れがないかなどを確認することを目的とする。
- ・ 日時  
4月13日14日  
10:00～16:00
- ・ 場所  
情報科学類計算機室(筑波大学 3C113) または 全学計算機室
- ・ 事業の内容  
合宿中に Twins を用いた履修登録の手順については説明を行っているので、ある程度登録されている状態で参加してくれることを想定している。何か興味のある分野の授業の探し方や、昨年度までとどのような変更があったのかなどの説明を個別に対応する。また、必修科目の履修漏れが無いか等の確認を行う。
- ・ 昨年度の問題点と対策  
特に昨年度の問題点があったという引継ぎは受けておらず、また、参加した身としても、特に問題はなかったように感じた。
- ・ 備考  
情報科学類で開講していたコンピュータリテラシが全学共通科目情報となるため、1年生が情報科学類計算機室使用誓約書を書く時間を全体で取れるかどうかは現時点では不明である。今年度は昨年度までとは違い、情報科学類の計算機室に入室できない可能性がある。



## 7. 学類懇親会

- ・ 目的

入学して数日が経過し、食事会から1週間が経過した状態で、もう1度学類内で交流し親睦を深める事を目的とする。

- ・ 日時

4月13日 17:00～

- ・ 場所

グローバルビレッジ

- ・ 事業の内容

情報科学類の2年生のうち ARE や情報特別演習などを1年生に行っていた者から、どういった内容で行ったのか等を発表し、情報科学類の1年生のうちにどのようなことをしていた先輩がいたのかを知ってもらう。また、レクリエーションを行い、親睦を深めてもらう。レクリエーションの景品として、大学生活で役立つものを用意する予定である。

- ・ 昨年度の問題点と対策

昨年度の問題点	改善案
参加者が非常に少なかった。	周知を目的とした書類を別途新歓パンフレットに同封する。サークル等の新歓と被らないように休日の夕方におこなうようにした。
参加者を多く募るための意義付けをした方が良い。	情報特別演習や ARE を行っていた上級生が研究内容等についてのプレゼンを行う。

## 8. 学群懇親会

- ・ 目的

情報学群全体の新入生が一堂に会し、学類だけでなく、より多くの自分の趣味や興味が同じである人と出会う場所を用意することを目的とする。また、これまで学類で行われていた科目が学群共通科目となって開講されるため、早い段階で情報学群内に知り合いができることを目的としている。

- ・ 日時

4 月 21 日 17:00~20:00

- ・ 場所

グローバルビレッジ

- ・ 事業の内容

入学から 2 週間弱が経過した状態で、学群での交流を深めてもらうため、情報学群合同で主催する。食事の席やレクリエーションで、学類を超えて多くの人達が話し合えるように実施する。具体的にはグループ形式でのレクリエーションを主とし、大学に関するクイズを考えてもらうなどすることを考えている。

- ・ 昨年度の問題点と対策

昨年度は実施していないため、省略する。

・ 連絡・広報について

➤ 新歓パンフレット等の送付

例年通りパンフレットを作成、送付する。新生活の手引きや学類の紹介が主となっている。発送は後期日程入試合格者が確定し次第行う。他に「履修パンフレット」や、昨年同様に合宿についての注意事項を書いた WEB サイトへ誘導する書類も同封する。

➤ WEB サイト

昨年度同様に合宿については WEB サイト(<https://www.coinshinkan.com/>)を用意する。このサイトへ誘導するための書類をパンフレットに同封する。

➤ LINE@

昨年度同様に LINE@ を使用して連絡等を行う。

新歓パンフレットにて登録するように促し、登録方法を解説するページを新歓パンフレットに設ける。

なお、昨年度は新入生 1 名から「LINE を使っていない人に配慮すべきだ、LINE@ の利用は不適切である」という意見が寄せられていたが、これには新歓委員長のメールアドレスを載せることで昨年度同様に別途対応する。

➤ Twitter

coins 新歓 2019(@coins2019)というアカウントを活用して情報発信や質問等の受付を行う。運営管理は広報班と新歓委員長で行う。

・ 安全管理対策について

➤ 怪我・事故等への対策

合宿中に焼肉を行うが、その際は事前に青少年の家の方から諸注意を受け、新歓委員が様子を見て回り、やけど等の怪我がないよう十分に注意する。また、昨年度同様に応急処置セットを携帯する。合宿の運営は学類の教員と密接に関わっているため、教員側との連絡も密にし、休日当番医を調べておく等の準備も行う。

➤ 送迎について

大学から合宿先である青少年の家までの往復は学類の手配したバスにて移動する。

それ以外の新歓事業において車は原則用いず、自転車や徒歩での移動とする。慣れない地での移動となるため、新入生が迷うことが想定される。食事会場の現地だけではなく平砂共用棟やつくば駅などの目立つ箇所も集合地点とし、送迎を行う。

➤ **食中毒への対策**

学類懇親会では新歓委員会で用意した食事をするようになるため細心の注意が必要である。寿司等の生の魚介類を使用した食品は提供しない。懇親会の直前に食品を店に取りに行くこととし、学生が食品を管理する時間を極力短くする。食品を扱う新歓委員にはアルコール消毒を徹底し、食中毒が発生しないよう努める。

➤ **食物アレルギーへの対策**

入学前食事会、新歓合宿、学類懇親会、学群懇親会において食事を提供するため、食物アレルギーの調査が必要である。新歓パンフレットを発送するときに同梱物として食物アレルギー調査のお知らせを入れ、Google フォームや既述の連絡手段を活用して情報を収集する。また、食事の前に念のため再確認を行う。

➤ **未成年者飲酒対策について**

成年・未成年に関わらず、新歓委員会として酒類の提供は一切行わない。新歓委員にもその旨を徹底して周知させる。新歓行動中は上級生であっても飲酒はしない。百香亭で食事会が予定されているが、新入生が酒類を注文する可能性もあるため、事前に店側に酒類の提供を決して行わないよう要請しておく。

万が一未成年の飲酒が発生した場合はためらわずに関係機関に連絡するよう、新歓委員に周知徹底する。

・ **新歓の事業報告・決算の公開について**

以下の方法で事業報告・決算を公開する。カッコ内は各方法における公開範囲である。

- 学類メーリングリストにファイルを添付して送信する（情報科学類生全員）
- 情報科学類ラウンジに各書類を公開した旨を示す掲示をする（情報科学類生全員）
- 情報科学類の計算機を用いて WEB ページ上に公開する（WEB 公開により誰でも閲覧可）
- 新入生歓迎特別委員会及び全代会財務担当へは別途メールを送信する。この際、上述の WEB ページへのリンクを記載してメールの内容と学類に公開する内容が相違ないことを確認してもらう。（全代会）

なお、事業報告書・決算書は上記を持って正式な提出とはせず、上記公開を経て最終確認をした上で全代会財務担当に提出する。この際、最終確認を経た書類に関しても上記と同じ方法で公開し、修正点を明示する。

・ **委員長・会計担当連絡先**

学生財務会議出席者各位

新歓委員長 大崎俊輔（情報科学類 2 年生）

電話番号：070-4085-4043 メールアドレス：[s1811323@s.tsukuba.ac.jp](mailto:s1811323@s.tsukuba.ac.jp)

会計担当 進藤雄紀（情報科学類 2 年生）

電話番号：080-2898-4739 メールアドレス：[s1811348@s.tsukuba.ac.jp](mailto:s1811348@s.tsukuba.ac.jp)